

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7899 財務諸表論 [決算書の読み方]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜3限				
教室	J203教室				
代表教員	吉沢 壮二郎				
担当教員	吉沢 壮二郎				
テーマと到達目標	財務諸表（決算書）は企業の経営状態（利益や財産、お金の流れ）を外部の関係者に報告するためのツールです。経営者が好き勝手に決算書を作成できるようなのでは、外部の関係者は企業の能力や課題について正しく知ることができず、企業同士の比較もできません。そのため決算書はルール（会計基準や法律）によって規制されています。この授業の目的は、決算書の仕組みと作成のルールを理解し、決算書を「読む力」を修得することです。				
概要	この授業では、財務諸表（決算書）を「読む力」をつけることを重視します。会計ルールを理解し、自分なりに決算書から企業の実態を推理・分析できることを目指します。決算書の仕組みや読み方を学ぶにあたっては、実際の会社の決算書に数多く触れてみることも有効です。授業では毎回、いろんな業種の企業の決算書を教材として用い、またクイズやグループワークも行います。また、会計は「ビジネスの言語」であり、経済ニュースや新聞記事は、会計に関する用語であふれています。最近のトピックも多く取り上げ、皆さんが決算書により興味をもてるように工夫をします。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	財務諸表（決算書）とは何か？利益とは何か？会計とは何か？				対面授業
第2回	貸借対照表の仕組みと見方～企業の財政状態～				対面授業
第3回	利益の計算の仕組みと決算書同士のつながり				対面授業
第4回	損益計算書の仕組みと見方～企業の儲ける力～				対面授業
第5回	決算書の探し方／日本の会計制度				対面授業
第6回	固定資産と減価償却				対面授業
第7回	資産の種類と評価方法				対面授業
第8回	負債の特徴と見方				対面授業
第9回	純資産の特徴と見方				対面授業
第10回	収益と費用についてのルール				対面授業
第11回	レポート作成に向けて				対面授業
第12回	キャッシュ・フロー計算書の仕組みと見方				対面授業
第13回	不正会計のケース・スタディ				対面授業
第14回	DCF法と減損会計				対面授業
第15回	企業グループの会計と「のれん」				対面授業
成績評価の基準	期末試験50%、中間課題30%、平常点（授業での取り組み状況）20%				
履修にあたっての留意事項	特になし				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	電卓を持参してください。スマートフォンなどを電卓の代わりに使用することは認めません。		
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--